



世界に誇るサンゴ礁

『モズク基金でサンゴ礁再生事業』

環境大臣賞受賞

サンゴの苗づくり(漁協施設)

恩納村漁業協同組合



豊かな養殖漁場のために



恩納村民
豊かな海を守り育む

安心して、美味しいモズクを生産する

サンゴ再生事業を支援

高品質なモズクを工場へ

コープパルシステム
コープ中国・四国、東海

(株)井ゲタ竹内



販売

『サンゴ礁再生事業』の商品を購入する



加工場

自然の恵みを大切に、心を込めた商品づくり

安全・安心な商品を届ける

村漁協：海を守り・育てる『里海づくり』

育てる漁業として「モズク」の他にも「アーサ」や「海ぶどう」の養殖を行っています。

「豊かな里海づくり」を目指して、平成10年からサンゴの養殖を始め、消費者の協力を頂きサンゴの植え付けを行っています。



【漁場・環境保全部門】

豊かな海を次世代に!!

『サンゴ白化現象』

さまざまな動植物が生息しているサンゴ礁から、私たちは多くの恩恵を受けています。

1980年代から始まった白化現象は短いサイクルで繰り返され、村内のサンゴも昨年、谷茶区から宇加地区にかけて大きな被害を受けました。

豊かな海を次世代に

平成28年全国豊かな海づくり大会



恩納村コープサンゴの森連絡会

テーマは『人間の生活と自然の共生』のために!!

議会では予算や決算審議、条例制定や改廃など、様々な議案について審議します。また、そのことで村民に対する行政サービスの提供や村民福祉の向上を図り、持続可能な恩納村の発展を目指しています。その他にも、持続可能と云えば『恩納村コープサンゴの森連絡会』のことをご存知でしょうか。

村漁業協同組合では、モズク基金サンゴ礁再生事業を立ち上げて、平成24年度から村内で生産されたモズク商品の売上げ代金の一部をサンゴ礁再生事業に充て、海を育む活動を行っています。

【購入されたモズク商品】

年度	パック数
平成23年まで	2,269,705
平成24年	2,781,936
平成25年	2,561,061
平成26年	2,599,335
平成27年	2,855,410
合計	13,067,447

モズク対象商品4個入りで1円、6個入りで2円の基金を積み立て、サンゴ礁再生事業に活用しています。

【植え付けサンゴの本数の推移】

年度	本数
平成23年まで	6,318
平成24年	2,581
平成25年	4,306
平成26年	3,419
平成27年	2,487
平成28年	4,964
合計	24,075

これまでに、24,075本のサンゴが恩納村海域に植え付けられました。